



コロナ禍の生活 今できることを、楽しく！

一般社団法人 大阪知的障害児者生活サポート協会 理事長 安本 伊佐子

平素は、当大阪生活サポート協会の運営にご理解・ご支援を賜りましてありがとうございます。国内で「新型コロナウイルス」が確認されて以降、1年8ヶ月、デルタ株の登場で今や全国各地で感染拡大です。いつまで続くのかと不安がいっぱいです。

会員の皆さまにおかれましては、「我慢の生活」の連続で、かけがえない行事、イベント、日々の外出など、多くの方々との触れ合いを避けなければならぬ状況の連続です。

「もうちょっと我慢すれば…」とみんな頑張ってきました。「いつまで我慢したらいいの？」こんな声が聞こえてきます。

「コロナ」がゼロになることは困難かもしれませんが、「コロナ」との共生のあり方を考えることも必要かと考えます。

◇ ◇
令和3年度事業ですが、コロナ禍の状況下での事業のありようを考えなければなりません。

会員対象事業

○ 当大阪生活サポート協会のホームページ上で毎年会員の方々等から

の作品募集を行っています。本年度は、ご応募いただいた作品を国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」で、来年（令和4年）2月に展示会と入賞者の表彰式を予定しています。自粛生活の今、施設・グループホーム・自宅等で作品の制作に取り組んでみてはいかがでしょうか。

○ 「集まれグループホーム」は昨年度中止いたしました。本年度については、コロナ感染状況の一定程度の収束と感染防止対応の可能な時は、実施の方向で検討したいと考えています。

支部（施設等）対象事業

平成22年度からの事業である「支部活動等助成事業」を活用して、会員の皆さまの暮らしを楽しく、豊かに、また支援者や家族を対象にした研修の実施など、工夫をして頂きたい。

◇ ◇
長期に亘る制限された生活の連続はストレスフルな状況ですが、この状況から脱するためには一人ひとりの努力も必要です。

* 会員：「生活サポート総合補償制度」に加入する知的障がい児者・自閉症児者

令和3年度「ホームページ作品展示コーナー」作品募集と「作品展」について

会員（本人）皆さんからの素敵な作品を募集しています。（締め切り：10月末）

来年2月には、堺市に在る「ビッグ・アイ」にて「作品展示会」を予定しています。奮ってご応募ください。詳しくは当協会のホームページ（「大阪生活サポート協会」で検索）のトップページ「お知らせ」をご覧ください。



自分の好きな時に、好きなことのできるんや！ グループホームで暮らす方のエピソードから

社会福祉法人清光会
和泉の里 施設長 柴沼 廣

◆平成12年にグループホーム（以下、ホーム）で生活を始めたダウン症のYさん（女性、施設生活12年）

施設では、将来に向けて厨房での仕事をしていました。厨房での一年目は何もできずにいましたが、ホームへ入居するころには、厨房の職員の協力もあり一人で仕事ができるまでに成長していました。ホーム入居後も仕事として、厨房での勤務は続いていました。

ホームに入居して何年目かのことです。ホームで暮らす一人の男性を好きになりました。二人でよく遊びに出かけていましたが、ある日、Yさんはその方を引っ張って、結婚式場に結婚式の申し込みに行くという行動に出ました。式場から施設に連絡が入り、慌てて迎えに行き、取りあえずキャンセルしました。

次は、近くで分譲している一戸建ての申し込みに行きました。再び係りの方から連絡が入り、迎えに行きキャンセルしました。行動の是非はともかくとして、こまめに積極的に行動するとは夢にも思

わない出来事の連続でした。本人曰く「好きなのに、なぜ結婚式挙げたらあかんの。なぜ一緒に住んだらあかんの」と。返す言葉はありませんでした。地域で生活する一人の人間として当然の夢を持ち、それに対して行動を起こしているのです。素晴らしいことだと思っています。

◆平成23年にホームに入居されたSさん（男性、施設生活17年）

当初は、お母様の強い要望で、グループホームの利用は不可でした。「せっかかく施設に入れたのに」が一番の理由でした。しかし、Sさんの絵画が大阪府の絵画展に入賞し、その後の表彰式にSさんとお母様が参加したことがきっかけとなりました。お母様の「何もできないと思っていたけど、もつといろいろな経験をさせて欲しい」ということで、ホームの入居が決まりました。

ホームでの生活はマイペースですが、施設内にある診療所へ診察に来られた時、なんと、かつて

暮らしていた施設には目もくれずに診療所へ行きます。まるで、「私もう地域で生活している、施設はもう関係ない、地域の一員なんや」と自己主張しているかのようです。こんなにも意識が変わるのはすごいことだと思っています。

* * *

グループホームで生活をされている方々に共通していることは、個人での活動、小集団での活動を楽しんでいられることです。「自分の好きな時に、好きなことができる、これが一番良いんや」の声が聞こえてきます。今回は二人の話でしたが、日々エピソードの連続です。今度は、どんなエピソードが待っているか楽しみです。



「この子の生きた証」を語り継ぐ 親の切なる願い

社会福祉法人障友会 理事 吉川 喜章

大阪知的障害児者生活サポート協会の機関紙「大阪生活サポート協会だより R A I S H I I K U 第2号 2020年9月発行」に寄稿された「この子の生きた証を！親の切なる願い」は、かねて筆者の属する社会福祉法人障友会を支え、ともに歩みつけて下さったあるお母様からのものでした。「障がいのあるわが子に寄せる深い思い、先々の気がかりの大きさ、そしてそのうえで法人に求められた切実な願い」など、痛切な心情を受けとめることになりました。

この、「お母様のねがい」を何とか形あるもので叶えることができないものかと、昨年来、法人の各施設保護者会や家族会などに投げかけ意見をうかがってきました。

その結果、法人の歴史とともに「人の歴史」についても記録し語り継いでゆくことの大切さ、時に先人たちのかつての人生に思いをはせることの意味（義）を確認しました。そのうえで、そのための「よすが」となしうる形のあるもの——「碑」の建立をすすめることになりました。両会からの資金援助も決めていただきました。

現在、「碑」の設置にむけて鋭意準備中です。「碑」の名称は今のところ『障友会 語り継ぐ碑』。刻まれる碑文は『なつかしい友 大好きでした これからも一緒にありがとう』が候補です。語り継いでゆく具体的方法はこれからの課題としていきます。

令和2年度 収支計算書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位:円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 |
|---------------|------------|------------|
| <収支の部> | | |
| ①会費収入 | 23,083,300 | 23,313,160 |
| ②民間助成金収入 | 0 | 110,000 |
| ③受取利息収入 | 3,000 | 4,280 |
| 当期収入合計 | 23,086,300 | 23,427,440 |
| <支出の部> | | |
| ①事業費支出 | | |
| 支部活動等助成金支出 | 4,300,000 | 3,590,123 |
| 応募作品写真集作成支出 | 1,000,000 | 1,698,119 |
| 機関紙・ホームページ等支出 | 700,000 | 766,278 |
| 集まれグループホーム支出 | 1,700,000 | 0 |
| 研修会・なんでも相談支出 | 700,000 | 0 |
| 通信運搬費支出 | 1,100,000 | 1,255,895 |
| 雑支出 | 0 | 16,280 |
| 事業費支出計 | 9,500,000 | 7,326,695 |
| ②管理費支出 | | |
| 管理費支出計 | 13,143,000 | 11,015,378 |
| ③その他の支出 | | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,000 | 70,000 |
| 当期支出合計 | 22,713,000 | 18,412,073 |
| 予備費支出 | 373,300 | - |
| 当期収支差額 | 0 | 5,015,367 |
| 前期繰越収支差額 | 0 | 24,065,608 |
| 次期繰越収支差額 | 0 | 29,080,975 |

令和2年度「生活サポート総合補償制度」収支計算書
(令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位:円)

| | 科目 | 予算額 | 決算額 |
|----|--------|-------------|-------------|
| 収入 | 預かり保険料 | 180,999,700 | 184,553,830 |
| 支出 | 保険料 | 180,999,700 | 184,553,830 |

令和3年度 収支予算書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位:円)

| 科目 | 予算額 | 備考 |
|----------------|------------|-----------------|
| <収支の部> | | |
| ①会費収入 | 23,362,000 | |
| ②受取利息収入 | 3,000 | |
| 収入合計 | 23,365,000 | |
| <支出の部> | | |
| ①事業費支出 | | |
| 支部活動助成金支出 | 4,300,000 | |
| 表現活動支援支出 | 2,000,000 | 応募作品展示会・表彰式・交流会 |
| 広報費支出 | 850,000 | 機関紙・ホームページ等 |
| 就労・生活支援事業支出 | 1,700,000 | 集まれグループホーム |
| スポーツフェスタ支出 | 300,000 | |
| 知的障がい児者ソフト大会支出 | 200,000 | |
| 研修会支出 | 500,000 | |
| 通信運搬費支出 | 1,500,000 | |
| 雑支出 | 20,000 | 振り込み手数料等 |
| 事業費支出計 | 11,370,000 | |
| ②管理費支出 | | |
| 管理費支出計 | 13,199,000 | |
| ③その他の支出 | | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,000 | |
| 支出合計 | 24,639,000 | |
| 収支差額 | △1,274,000 | |
| 運営資金積立預金取崩収入 | 2,000,000 | |
| 予備費支出 | 726,000 | |
| 当期収支差額 | 0 | |

令和3年(2021)年度 定時社員総会開催

令和3年6月30日(水)

午後2時～3時30分、大阪府社会福祉会館405号室にて開催。

総会は社員全員(13名)が出席。①令和2年度事業報告・決算報告、②令和3年度事業計画並びに予算の承認について審議され、各議案いずれも異議なく満場一致で議決されました。

令和2年度 事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大状況下、計画していた事業すべてを実施できませんでした。実施事業は次のとおり、①支部活動等助成事業については、新たにコロナ支部見舞金、エンジョイ支部助成金を追加実施しました。応募支部(事業所等)数:41、助成支部34、総助成額3,311,383円 ②会員支援である表現活動支援としてご応募いただいた作品を「大阪生活サポート協会 表現活動支援～令和2年度 作品写真集～」として応募者の記念に発行し、応募者・応募者の所属する事業所・関係機関に配布、好評を得ました。③広報活動としては機関紙第2号を発行、従来の機関紙に加え、新たに会員(本人)向け機関紙を発行しました。



令和3年度事業について

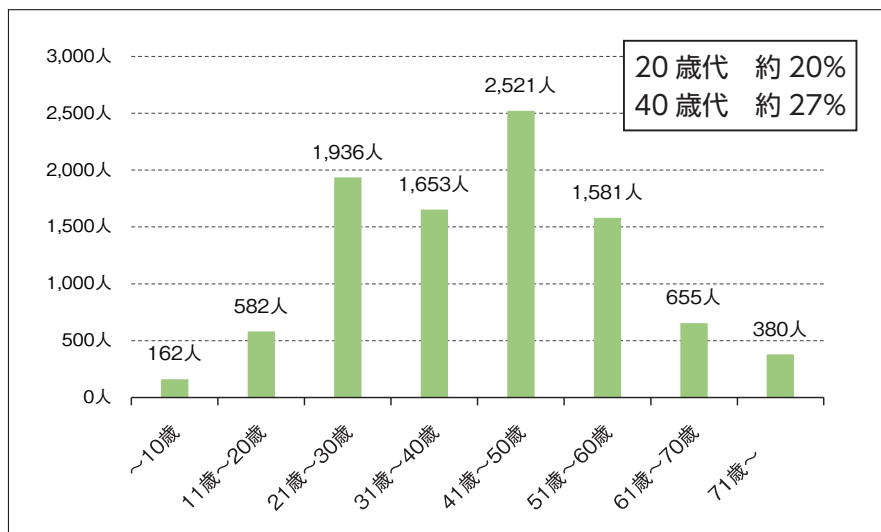
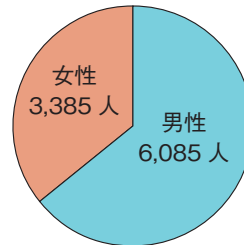
引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の状況下であり、各事業ともに実施時期は未定です。「作品応募者のつどい」についても状況を見ながら実施を検討したいと考えています。今年度は「ホームページ作品展示コーナー」にご応募いただいた皆さんの作品を広く多くの方に観て頂きたい、来年2月に堺市に在る「ビッグ・アイ」にて「作品展示会」の開催を予定しています。開催決定次第ホームページに掲載します。

数字で見る 大阪生活サポート協会

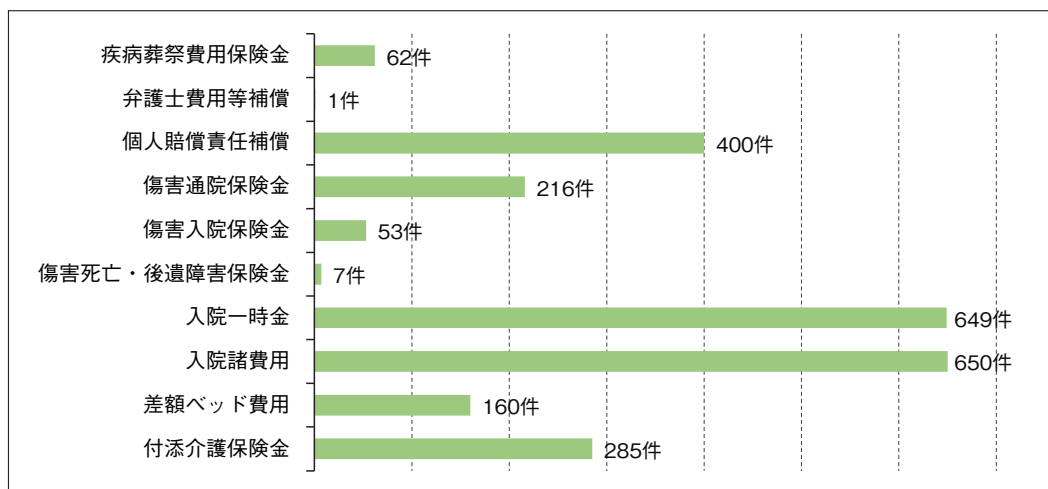
大阪生活サポート協会 会員状況

(男女別・年齢別)

男性 約 64%
女性 約 36%

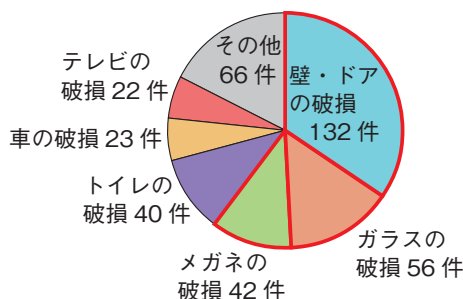


生活サポート総合補償制度 給付状況 (令和2年度 補償項目別給付件数)



主な対物賠償事故

多い対物賠償事故は①壁・ドアの破損、②ガラスの破損、③メガネの破損
施設利用時が約半数



Zoomオンライン 「親なきあとオンライン セミナー」の紹介

全国各地域の生活サポート協会事業の一つである「生活サポート総合補償制度」の保険代理店ジェイアイシーグループの東日本を担当する(株)ジェイアイシーが、11月5日(金)に「障がいのある人の親なきあととお金の残し方と管理のしくみ」等についてセミナーを開催致します。ご希望の方はどなたでも視聴できます。なお、セミナー案内用チラシを大阪生活サポート協会ホームページに掲載しますので、ご覧いただきお申込みください。(事前申し込み必須)



RA-SHI-KU (らしく) 第3号 令和3(2021)年9月

発行人 安本 伊佐子

発行所 一般社団法人 大阪知的障害児者生活サポート協会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内

TEL 06-6764-6889 FAX 06-6770-5988

E-mail kyokai@osakasupport.or.jp www.osakasupport.or.jp

編集 安本 伊佐子 吉川 喜章 柴沼 廣 松山 茂美 横谷 茜 山下 逸 竹本 幸司

制作 ハンドレッドラボ(株)

●編集後記● 本機関誌は行事・事業紹介にとどまらず、会員(本人)や家族の思い、悩み、願い、希望の発信に留意していくこと。また、「私らしく生きていく」上での情報をわかりやすく会員(本人)に提供することを心がけていきたいと思っています。皆様のご意見・ご感想を引き続き、よろしくお願い致します。